

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第1区分

【発行日】平成29年9月14日(2017.9.14)

【公開番号】特開2015-40565(P2015-40565A)

【公開日】平成27年3月2日(2015.3.2)

【年通号数】公開・登録公報2015-014

【出願番号】特願2014-164008(P2014-164008)

【国際特許分類】

F 02 C 6/18 (2006.01)

F 22 B 1/18 (2006.01)

F 01 K 23/10 (2006.01)

F 01 K 7/44 (2006.01)

【F I】

F 02 C 6/18 A

F 22 B 1/18 E

F 01 K 23/10 T

F 01 K 23/10 V

F 01 K 7/44 Z

【手続補正書】

【提出日】平成29年8月4日(2017.8.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複合サイクルシステム(10、100、200)用の熱回収蒸気発生器(40、130、210)であって、

第1の高圧過熱器(240)と第2の高圧過熱器(250)とを備える高圧部(46、140、220)と、

ダクトバーナ(66、180、270)と、

前記第1の高圧過熱器(240)および前記第2の高圧過熱器(250)に流体連通された蒸気導管と、

前記蒸気導管に配置された第1および第2の組の弁と、
を備え、

前記ダクトバーナ(66、180、270)を燃焼させないときに、前記蒸気導管内の蒸気の流れが前記第1の高圧過熱器(240)に、次いで前記第2の高圧過熱器(250)に向かうように、前記第1の組の弁が開放され、前記第2の組の弁が閉鎖され、

前記ダクトバーナ(66、180、270)を燃焼するときに、前記蒸気導管内の蒸気の流れが前記第2の高圧過熱器(250)に、次いで前記第1の高圧過熱器(240)に向かうように、前記第2の組の弁が開放され、前記第1の組の弁が閉鎖され、

前記第1の高圧過熱器(240)が、前記ダクトバーナ(66、180、270)の上流側に配置され、

前記第2の高圧過熱器(250)が、前記ダクトバーナ(66、180、270)の直ぐ下流側に配置され、

再熱器(50、260)が、前記第2の高圧過熱器(250)の直ぐ下流側に配置される、

熱回収蒸気発生器(40、130、210)。